

木材業界の話し

材木屋は酒が好き？

少し前の話ですが6月の4日～5日に木材の親睦会の旅行が有り、伊勢神宮方面に一泊二日の日程で行って来ました。バスでの旅ですが、出席者は27名でした。私は今年5年に一回の幹事でした。旅行内容は私の尊敬する社長が幹事長でしたので、大して用事は有りませんでした、それなりに先輩連中の社長ばかりなので本当に気を使いました。

この旅で3名を除く24人は本当にお酒を多く嗜まれていました。バスの中だけで、実に缶ビール70本を楽々開けてくれました。

(余談一スーパードライの指名でした)

宴会の時もコンパニオンを5名呼び、ビール・焼酎・日本酒・洋酒等凄いい量でした。添乗員の方も吃驚していました。

又凄いはしゃぎかたでした。

『日頃は奥さんが飲みたくても飲ましてくれない』だなど私は思いました。

帰りの昼食を食べてから帰路に付くとさすがに皆様は、眠りに付きました。

昔亡き祖父に聞いた事が有りました。それは材木が本当に売れた昭和30年頃、仕事を五時に終わると、即遊びに行くのですと。

材木屋が旦那商売と言われた時代です。

もはや昔の話は夢の又夢です。

娘の心境父親は理解しがたい

私は子供3人います。上から高校一年の長男、二番目が中学三年生の長女、三番目が幼稚園年長の次男です。今二番目の娘の事で、妻は非常に悩んでいます。私学の中学校に毎日真面目に登校はしていますが、勉強の成績が全く上がらないのです。学校の先生と電話とか、学校の懇談にて話しをして色々考えて努力していますが、結果がはかばかしく出ないのです。全く妻の思うように行かないのです。

この間、私が帰宅した時、泣くように私に言うのです。ちょうど期末試験の結果が発表された時の事でした。

『この成績だと高校に上がりませんよ！』と担任の先生から電話があったのです。

そして夫婦で夜遅くまで、妻の話しを聞きました。しかし夫の私から妻に対して細かく言う事は実際有りません。

長女・母親・先生の三人に任さざるを得ないのです。

私が妻に言った言葉は、子供が本当に危機感を持って勉強してくれるのを待つしか方法は無い。

何ほでも父親として、『勉強しなかったら高校へ行けない』と言っても良いが、決して結果は付いて来ないと妻に言いました。

娘は何時も口では『勉強は自分の為にしています。』と言っていますが、本当は『母親がうるさく言うから、仕方なく勉強しているだけなのです。』

丁度反抗期の真っ最中ですし、家族でテレビを見ていて私がオナラをすると、『トイレでしてよ、空気が汚れるじゃない』怒るのです。女の子は叱り難いですが、男なら、ビンタするのに躊躇しませんが、躊躇しますよ！

現状私の心の中は、学業はビリでも、高校に行ければ結果オーライなのです。それぐらいの期待しかしてません。

細かい事を一々言うつもりも有りません。妻の悩みを『そうか、そうか』聞くしか出来ませんし、私に子供を本当に心の中から自分の為に勉強しますと、言わずだけの甲斐性も有りません。

父親である私の考えは、学業が凄く出来る事が、女性の幸せだとは思っていません。

勉強も確かに大事ですが、もっと大事な事も有る。女性は旦那の心の支えで有り、癒しの源でもあるのです。

娘には私の家内と言う鏡が有るので、その様になってくれる事が私の望みです。



(伊勢神宮)

今月の出来事

日本人たれ！

私は浄土真宗大谷派の門徒の一員です。お寺から、毎月父親の月命日の法要に自宅に来ていただいておりますが今度の土曜日に是非法話を聞きに来てくださいと、お坊さんから言われました。正直言って積極的に行きたくは有りませんでした。行くと西本願寺の本山から、貫禄が有る、お坊さんが来ていました。話しの内容は色々ありましたが、非常に為になる事を仰っていました。

それは、山本五十六大日本帝国海軍閣下をモデルにしながら人間の生き方のお話でした。昔の若者達と今の若者達を比較すると、全く辛抱が足りない。それは今の親の躰が非常に甘いと言う話でした。辛抱と言う事を、全くさせていない、『これが欲しいと子供が言うとすぐ其れを買い与える』と言う事でした。私も自分の子供は3人いますが、お坊さんに聞いた事を、少しでも実践しますと誓いました。

私は母親と毎月父親の墓参りには、必ず行っていますが、こういう素晴らしいお話が聞かして頂けるのなら、お墓参りと同じぐらい大事に、法話を聞きに行く誓いをしました。

そして最後に一枚の『男の修行』冊子を頂きました。冊子の中身は次のとおりです

男の修行

苦しいこともあるだろう。	言いたいこともあるだろう。
不満なこともあるだろう。	腹の立つこともあるだろう。
泣きたいこともあるだろう。	これをじっとこらえるのが男の修行である。

今月の仕事

帰国した設計士に材木(素材)を買って頂きました。

弊社のホームページを見て愛知県常滑市から遥々、ナラの柾目の板を1立方とナラの90ミリ角を長さ仕上がり700ミリにて40本買いに来てくれました。買ってくれた彼は3歳からアメリカに行って、最近両親をアメリカに残し単身日本に帰ってきたそうです。彼は現在33歳ですが、ナラの用途の話しをしていると、凄いなと私を唸らせました。

弊社から買ってくれたナラ材は、常滑市にINAXが作っているタイル館の家具10台に使用すると仰っていました。

その現場は大手ゼネコンが元請けですが、家具10台は、直接INAXから注文を取っています。又数が多い椅子及び引き出しが100近く有る家具は大手メーカーに仕事をINAXが出しているのですが、基本デザインは彼が行うとの事です。

彼の経歴はアメリカニューヨーク州のコーネル大学の建築学科を卒業です。

ご両親は、陶器関係の仕事をしているとの事です。

彼に日本とアメリカを比較すると、アメリカの方が住みやすいのではないですか？

と聞くと、『そうでもないですよ！それぞれ良さが有りますよ』と仰っていました。

彼の所属する設計士集団は商店建築にも度々案内されている、有名な設計士の融合体とも仰っていました。

なおINAXのタイル館は愛知県常滑市のセントレア空港の近くに作られていて今年の10月にオープンするそうです。是非見に行きたいです。



(彼がアメリカのウェブサイトのアマゾンドットコムで購入した機械)

大阪木材業界の歴史

昔は大阪の木材界は長堀近辺が中心で栄えました。それが市電の開通で近辺が発展して、街の中心部になった為に今の大正区小林町に集団移転させられました(昭和初頭に)。その当時は草深く全く不便な場所でありましたが、その小林町を木材業者の力で日本一の木材の町に育て上げました。其れは諸先輩の並々ならぬ努力の積み上げがあったからです。しかし何故か地盤沈下が、発生しました(大体昭和30年代後半)。材木屋は地下水を使いません、他の産業が大量の地下水を汲み上げ深刻な地盤沈下をまねいたのです。全く木材業界は過失も何も無かったのに拘らず木材業界は又移転を強制されたのです。それが今の大阪市住之江区平林です。平林は、当時問題にもなった原爆鮪を埋めた処であり、広大なごみ捨て場には真っ黒になるほど無数の蠅が発生し住める環境では無かったのです。その平林を小林町の様な場所に作り変えたのは材木業者の力です。私は昭和41年に大正区小林町からその当時の住吉区平林へ引っ越してきましたが、市バスが1時間に1本しか走ってなかったので全く不便でした。又蠅だけでなく、蚊の多さも凄かったです。夏の夜、網戸の隙間から蚊が家に侵入し蚊取り線香を何本も焚いた記憶は鮮明に残っています。又今の南港(ATC付近を埋め立てる以前)へ友達と釣りに行くにも、野犬が群がり、親と同伴で車でないと行けない危険な所でした。

それが今の平林から南港にかけての賑わいは木材業者の努力に依ってなされたのです。木材業者が概略の街造りを完成させ、その周辺が発展、住宅が建てこんで来ると、木材業者は付近の住民から嫌われ、白い目で睨まれるようになってきたのです。木材業者が、都市発展のパイオニアの役割を果しながら、最期には、遂われる如く、次の開拓地に移転させられてきた事は、余りに理不尽だと思いませんか？

又本年八月に関西電力大阪発電所の撤去工事が終了し、その跡地に旭硝子がプラズマテレビのディスプレイの工場を建設すると、決まりましたが、平林と言う場所がどういう歴史で成り立ってきたかを、忘れない為にほんの触りの部分だけ、書かせて頂きました。旭硝子を大阪に誘致するのに大阪府の太田知事が、頑張ってくれた事を評価しますが、木材業界が平林で貢献してきた事も忘れないで下さい。

社員紹介



服部商店の常務取締役の後藤憲彦です。

18歳の時に縁が有って服部商店に来て頂き現在58歳です。

40年間の服部商店の歴史を知っています。

弊社の無き会長と二人三脚で服部商店を運営してきてくれた事に感謝致しております。

性格的には穏やかですが、粘り強いです。又直感力も優れていますし真面目です。

しかし原木の値決めは、私よりシビアです。私以上に『木』の値打ちを知り尽くしているので安心して任せられる社員です。

写真は購入したスプルスNO1原木です。1本150万円しました。製材は常務がして、ツキ板のフリッチ(盤)の良材が多数取れ、常務が全てを販売しました。買って頂いたツキ板メーカーの社長様も中身が凄く良かったから大変喜んで頂きました。(又同じ様な良材を提供して下さいと、注文は受けていますが、1年間に何十本と製材していますが10年に一本有るか無いかの原木でした。)

値段の高い木が必ず中身が良いと保証されてはいません。原木は製材してみなければ解りません。

あくまで結果主義ですから。常務が製材してきた原木の本数はおそらく1000本以上です。1000本の原木と話しをして来たのです。原木と会話出来る数少ない木材業者の一人です。

フローリング床暖房対応の件

設計士さんから、よく床暖房対応のフローリングの件をお聞きするのですが、本当に必要な物ですか？

私の仲人の材木屋の会長が仰っていましたが、今の住まいは床暖房付きのマンションなのだが、床暖房は確かに便利かもしれないが、決して有った方が良いとは思わない。又年間に一度か二度しか使わないのが現状だと、言われるのです。

私が何故ですか？とお聞きすると次の通り仰っていました。

『電気代が非常に高くつくし、化石燃料を多く消費することは決して環境問題に正しくない』との事です。

それでも床暖房を求める消費者の方が多く、世間にはいますよと私が言うと、今販売されている、床暖房対応と称しているフローリングは、木から他の物に変質している、本来の木の特性、保温性、保湿性、マイナスイオン効果、触感、匂い、味わい等々の木の恩恵を、壊して作り上げた商品では無いか！と仰るのです。

それでは、どうしたら良いのですか？と何回も聞くと、それは服部君以下の若い者が、考えるものではないか？

もう私は『木の事は』何もかも知っているが、世の中の変わるスピードが早すぎるから、老いては子に従えでは無いが、私の考えが、本当に正しくても其れを言うと会社の利益を損なうんだよ！と言うのです。

私は今真剣に考え床暖房に耐えられ、しかも木の良さを損なわない方法が無いかを、試行錯誤しています。この服部新聞で一年以内で良い報告が出来たら嬉しいなど考えています。

今月のお買い得情報

アルダー材無垢フローリング(グリーン購入法対応商品)

厚み 20ミリ 巾 105ミリ 長さ 乱尺 (長材主体) 13平米限定



通常価格 8,500円/平米



特別価格 6,500円/平米

アルダー材はアメリカの太平洋岸に成育する広葉樹で完全リサイクル資源です。森林認証(SFI公認)の材です。

温かみが有り、子供部屋に有った商品です。

少し柔らかいが、(日本産の内地檜程度の柔らかさ)幼児がこけても、けがをしない健康フローリングと言えます。数量がごく僅かですので、お早い引き合いを願います。

